

主な内容	
会長挨拶	令和四年度活動方針
大会宣言	令和四年度組織表



志を一つに共に歩み、 国公立の園長としての 責務を果たす

全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 箕輪 恵美



去る六月三日、第七十三回全国国公立幼稚園・こども園長会総会・研究大会奈良大会がオンラインで開催され、午前中の会議で常任理事・理事の皆様は総会の議案及び新役員についてご審議ご承認いただき、今年度の活動が正式に始まりました。

全国組織である本会の活動が、全ての国公立の幼稚園・こども園を支えるものとなるよう、新役員一同で力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いたします。また、総会をもってご勇退された常任理事・理事の皆様は、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

「つながり」を糧に、共に歩み続ける
現在、少子化や無償化の影響で、各地で幼稚園の統廃合やこども園化が進んでいます。国公立の幼稚園・こども園が今後も地域の全ての子どもに質の高い教育を提供していくためには、全国の園長が志を一つに共に歩むことが今まで以上に必要です。

「つながり」があることで国公立の園長は学び合い、高め合うことができます。園の教育力向上が実現でき、地域を超えた情報交換をすることで、自園でこれから起きることを予測し、先手を打つこともできます。

園の管轄部署と折衝する際にも、複数の園長が一丸となつて動いたり他の自治体での取り組みを例に挙げたりすると、道を拓くことができます。園数が減っている地域ではこれまでの組織や活動の仕方を見直しながら、つながりを糧にしていきたいです。

園長同士のつながりに加え、保護者とのつながりも大切にしたいものです。園の教育の一番の応援団である保護者が園を超えたつながりをもつと、現場に必要なことを保護者の

立場から関係諸機関に働き掛けても
らえます。現在、各区市町村・各都道府県・全国の国公立幼稚園・こども園のPTA組織が、そのような活動を行っています。園長は保護者同士のつながりを支え、幼児期の教育の発展を共に支えていきましょう。

国の動向を注視しながら園経営を行う
令和四年六月七日に「経済財政運営と改革の基本方針2022（骨太の方針）」が公表されました。政府の経済財政政策の基本方針を定め、年末の予算編成に向けた国の政策方針を示すこの方針の中に、次の文言が明記されています。

- ・ 誰一人取り残すことなく健やかな成長を保障する。
- ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の具体化を早急に実現する。
- ・ 非認知能力の育成に向け、幼児期及び幼児小接続期の教育・保育の質的向上、豊かな感性や創造性を育む文化芸術、スポーツ、自然等の体験や読書活動を推進する。

教育に関わる事柄が国の重要施策に明記されていることを受け、各園でこれらの施策の裏付けとなるような実践をしていきたいものです。特に、幼保小接続は、幼児期の教育や国公立の園を守り続ける上で肝になるものです。地域の実情に応じた取り組みを各園で展開し、求められたときには資料を提供することで国公立の園の存在感を示し、幼児期の教育の発展にも寄与していきましょう。